

# 横浜市感染症発生動向調査報告 10月

## 《今月のトピックス》

- インフルエンザの流行が始まりました。
- 麻しんが5件報告されています。
- 腸管出血性大腸菌感染症が多く報告されています。
- 風しんの報告数が多い状態が続いています。
- 手足口病の流行警報が発令されています。

### ◇ 全数把握の対象

#### 〈10月期に報告された全数把握疾患〉

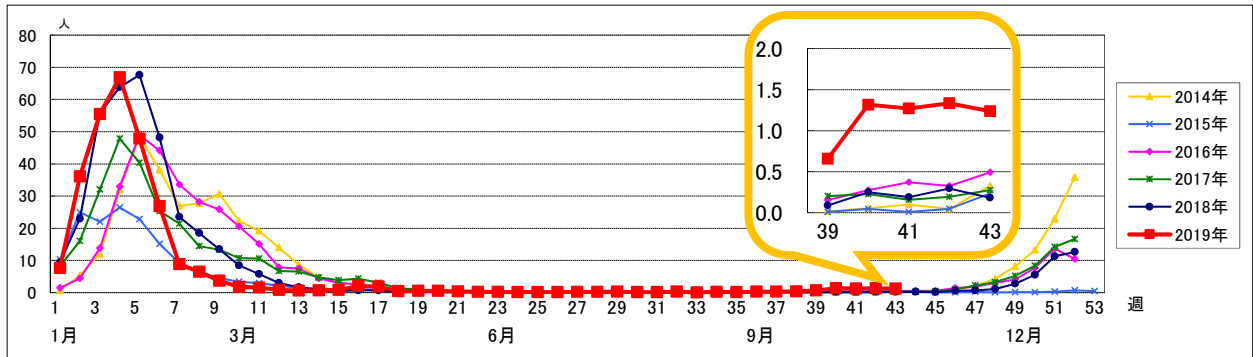
腸管出血性大腸菌感染症	15件	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3件
A型肝炎	3件	侵襲性髄膜炎菌感染症	2件
デング熱	1件	侵襲性肺炎球菌感染症	2件
レジオネラ症	5件	水痘(入院例に限る)	2件
アメーバ赤痢	4件	梅毒	12件
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	7件	百日咳	16件
急性脳炎	1件	風しん	10件
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2件	麻しん	5件
後天性免疫不全症候群(HIV感染症含む)	5件	-	-

- 1 腸管出血性大腸菌感染症: O157が14件(うち2件は無症状病原体保有者)、O26が1件ありました。
- 2 A型肝炎: 経口感染と推定される報告が1件、感染経路不明の報告が2件ありました。
- 3 デング熱: ネパールの蚊からの感染と推定される報告が1件ありました。
- 4 レジオネラ症: 肺炎型5件の報告があり、感染経路等不明でした。
- 5 アメーバ赤痢: 腸管アメーバ症の報告が4件ありました。感染経路は国内での同性間性的接触が1件、不明が3件でした。
- 6 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症: 7件の報告があり、感染経路等不明でした。
- 7 急性脳炎: 幼児の報告が1件あり、病原体はインフルエンザAでした。
- 8 劇症型溶血性レンサ球菌感染症: A群の報告が1件、血清群不明の報告が1件ありました。
- 9 後天性免疫不全症候群(HIV感染症含む): AIDSが2件、無症状病原体保有者が3件で、いずれも男性でした。感染経路は、いずれも同性間性的接触でした。
- 10 侵襲性インフルエンザ菌感染症: 70歳以上の報告が3件ありました。
- 11 侵襲性髄膜炎菌感染症: 50歳代の報告が1件、80歳代の報告が1件ありました。
- 12 侵襲性肺炎球菌感染症: 70歳以上の報告が2件(いずれもワクチン接種不明)ありました。
- 13 水痘(入院例に限る): 乳児および20歳代の臨床診断例の報告が1件ずつありました。
- 14 梅毒: 12件の報告(無症状病原体保有者1件、早期顕症梅毒Ⅰ期7件、早期顕症梅毒Ⅱ期4件)がありました。感染地域は国内10件、不明2件で、感染経路は性的接触が11件(異性間9件、同性間1件、詳細不明1件)、不明1件でした。性別は男性9件、女性3件でした。
- 15 百日咳: 10歳未満が7件(ワクチン接種あり5件、なし1件、不明1件)、10歳代が2件(ワクチン接種あり1件、不明1件)、20歳代が2件(ワクチン接種あり1件、不明1件)、30歳代が1件(ワクチン接種不明)、40歳代が2件(ワクチン接種あり1件、不明1件)、50歳代が1件(ワクチン接種不明)、60歳代が1件(ワクチン接種不明)の報告がありました。
- 16 風しん: 検査診断例10件が報告されています。20歳代2件(いずれもワクチン接種不明)、30歳代3件(ワクチン接種なし2件、不明1件)、40歳代3件(ワクチン接種なし1件、不明2件)、50歳代1件(ワクチン接種不明)、60歳代1件(ワクチン接種不明)でした。
- 17 麻しん: 検査診断例3件、修飾麻しん2件が報告されています。10歳代1件(ワクチン接種あり)、20歳代2件(ワクチン接種あり1件、不明1件)、30歳代2件(いずれもワクチン接種あり)でした。

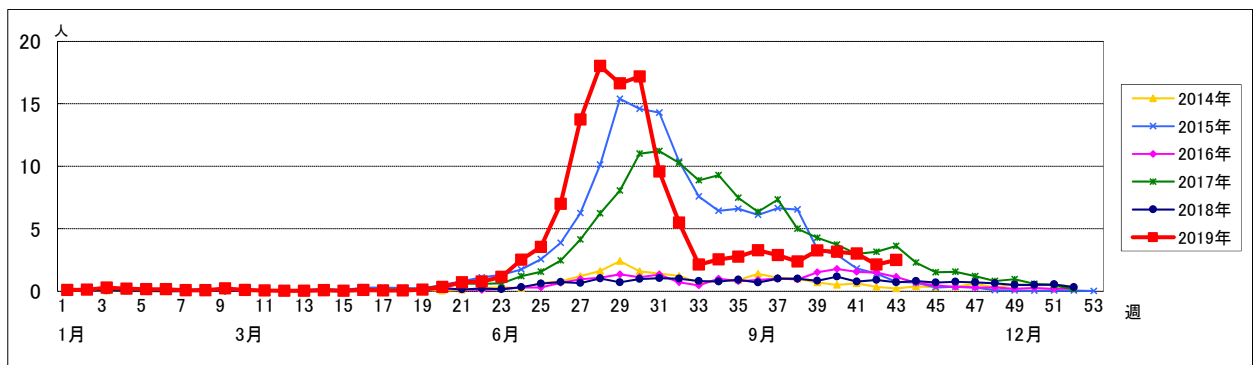
◇ 定点把握の対象

報告週対応表	
第39週	9月23日～9月29日
第40週	9月30日～10月6日
第41週	10月7日～10月13日
第42週	10月14日～10月20日
第43週	10月21日～10月27日

1 インフルエンザ: 市全体の定点あたりの患者報告数は、第35週で0.15、第36週で0.29、第39週で0.66と増加し、第40週で1.32となり、流行開始の目安(1.00)を上回りました。第43週は1.24となっています。



2 手足口病: 2019年は0.05から0.10で推移していましたが、第26週にて6.98で流行警報発令基準値(5.00)を上回り、第28週で18.01にて最大値となり、その後は減少し、第43週は2.49となっています。今年は過去に流行した2017年、2015年の同時期を大きく上回って推移しました。報告は少なくなっていますが、依然として流行警報は続いています(警報解除基準:2.00)。



3 性感染症(9月)

性器クラミジア感染症	男性:25件	女性:24件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性:3件	女性:11件
尖圭コンジローマ	男性:6件	女性:3件	淋菌感染症	男性:7件	女性:3件

4 基幹定点週報

	第39週	第40週	第41週	第42週	第43週
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	0.50	0.75	1.75	0.50	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

5 基幹定点月報(9月)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	3件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0件
薬剤耐性緑膿菌感染症	0件	-	-

【 感染症・疫学情報課 】

◇ 病原体定点からの情報

市内の病原体定点は、小児科定点:8か所、インフルエンザ(内科)定点:4か所、眼科定点:1か所、基幹(病院)定点:4か所の計17か所を設定しています。

検体採取は、小児科定点とインフルエンザ定点では定期的に行っており、小児科定点は8か所を2グループに分けて毎週1グループで実施しています。

眼科と基幹定点では、検体採取は対象疾患の患者から検体を採取できたときのみ行っています。

〈ウイルス検査〉

10月に病原体定点から搬入された検体は、小児科定点39件、内科定点11件、基幹定点5件、眼科定点6件で、定点外医療機関からは3件でした。

11月6日現在、表に示した各種ウイルスの分離株16例と遺伝子10例が同定されています。

表 感染症発生動向調査におけるウイルス検査結果(10月)

主な臨床症状 分離・検出ウイルス	上	下	イン	手	ヒト	そ
	気	気	フル	足	メ	の
	道	道	エン	口	タ	他
	炎	炎	ザ	病	ニ	
					ュー	
					モ	
インフルエンザ AH1pdm09 型			9			1
インフルエンザ AH3 型			1			
パラインフルエンザ 2 型	2					
アデノ 2 型	1					
RS		1				1
ヒトメタニューモ					3	
コクサッキーウイルス A16 型				1		1
コクサッキーウイルス B3 型				1		
パレコウイルス 3 型						1
ライノ	1	2				
合計	3		10	2		1
	1	3			3	3

上段:ウイルス分離数/下段:遺伝子検出数

【 微生物検査研究課 ウイルス担当 】

## 〈細菌検査〉

10月の「菌株同定」依頼は、基幹定点から腸管毒素原性大腸菌1件、大腸菌3件、サルモネラ属菌3件、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌4件、バンコマイシン耐性腸球菌1件、ノカルジア2件となっており、非定点からは、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌1件、アクロモバクター1件の依頼がありました。

保健所からは、腸管出血性大腸菌9件、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌9件、劇症型溶血レンサ球菌5件、侵襲性インフルエンザ菌3件、侵襲性髄膜炎菌2件の依頼がありました。

「分離同定」に関しては、基幹定点からリケッチア1件、保健所からレジオネラ6件の検査依頼がありました。

小児科定点からは、A群溶血性レンサ球菌3件、呼吸器系病原菌1件、消化器系病原菌1件の検査依頼がありました。

表 感染症発生動向調査における細菌検査結果(10月)

菌株同定	項目	検体数	血清型等	
医療機関	腸管毒素原性大腸菌	1	O169 ST1a (1)	
	大腸菌	3	O25 (2)、O153 (1)	
	サルモネラ属菌	3	<i>Salmonella</i> Eastbourne (2)、 <i>Salmonella</i> Enteritidis (1)	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	4	<i>Enterobacter cloacae</i> (2)、 <i>Klebsiella (Enterobacter) aerogenes</i> (2)	
	バンコマイシン耐性腸球菌	1	<i>Enterococcus faecium vanB</i> (1)	
	ノカルジア	2	<i>Nocardia asiatica</i> (1)、 <i>Streptomyces</i> 属 (1)	
	非定点	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	1	<i>Klebsiella pneumoniae</i> (1)
		アクロモバクター	1	<i>Achromobacter xylosoxidans</i> (1)
	保健所	腸管出血性大腸菌	9	O157:H7 VT1 VT2 (4)、 O157:H7 VT2 (2)、 O157:H- VT2 (1)、O157 VT2 (1)、 O26:H11 VT1 (1)、
		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	9	<i>Enterobacter cloacae</i> (5)、 <i>Klebsiella pneumoniae</i> (2)、 <i>Klebsiella (Enterobacter) aerogenes</i> (2)
劇症型溶血レンサ球菌		5	A 群溶血性レンサ球菌 TB3264 (4)、 G 群溶血性レンサ球菌 (1)	
侵襲性インフルエンザ菌		3	<i>Haemophilus influenzae</i> UT (3)	
侵襲性髄膜炎菌		2	<i>Neisseria meningitidis</i> W 群 ST-11 (1)、 B 群 ST-687 (1)	

分離同定	項目	材料	検体数	同定、血清型等
医療機関 定点	リケッチア	全血	1	不検出 (nested PCR) (1)
保健所	レジオネラ	喀痰	6	<i>Legionella pneumophila</i> SG1 (2)、 不検出 (2)、検査中 (2)

小児サーベイランス	項目	検体数	同定、血清型等
	A 群溶血性レンサ球菌	3	T4 (1)、T12 (1)、不検出 (1)
小児科定点	呼吸器系病原菌	1	<i>Staphylococcus aureus</i> TSST-1 産生、 PVL 産生 (1)
	消化器系病原菌	1	<i>Campylobacter jejuni</i> (1)

【 微生物検査研究課 細菌担当 】